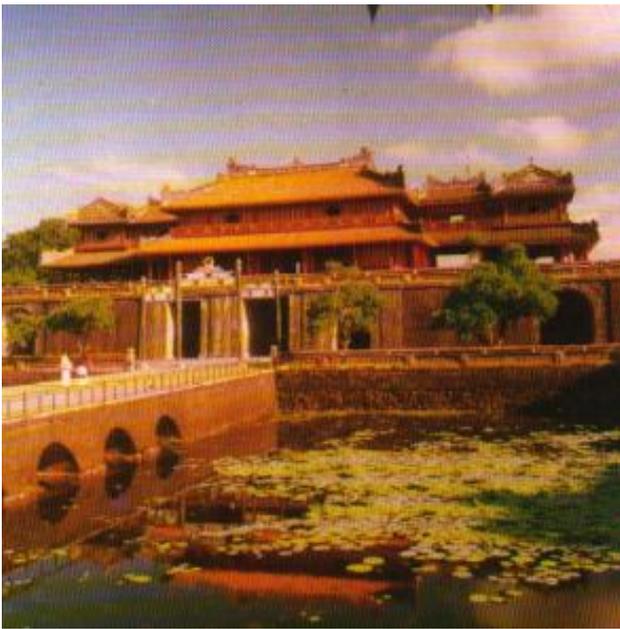


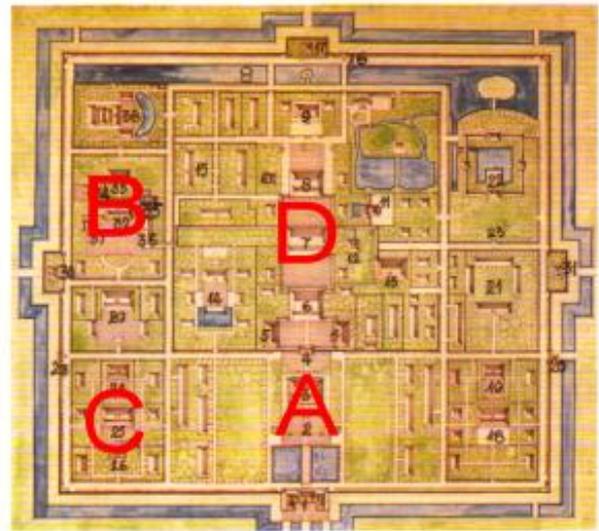
阮朝王宮 Royal Place

ベトナム中部の古都フエ (Hue) にある、かつての王宮跡。フエは、ベトナム最後の王朝である阮朝 (グエン朝、1802～1945 年) の都が置かれていた町である。この王宮は 1803 年に建設され、1833 年にフォン川のほとりの現在の場所に移された。高さ 5m の城壁で囲まれた 600m 四方の王宮には、80 もの柱によって支えられた、巨大な装飾屋根の宮殿がある。フエはベトナム戦争時の激戦地だったこともあり、この王宮にも、多くの戦争の傷跡が残っている。(世界の観光地名がわかる事典の解説)

また、この王宮はベトナム戦争でほとんどが破壊されてしまったため、建物がぼろぼろになってしまっているものも多く、それすらも残ってなくて草むらの広場のようになってしまっている所 (四角の道で囲まれている D の部分) もありました。



王宮門 (午門)



A ; 太和殿 B ; 長生殿 C ; 頤臨閣

A ; 太和殿

皇帝の即位式が行われたところ。紫禁城を真似てつくられたそうです。中はなかなか豪勢でした。内部は、赤い柱や壁が金色の細工がほどこされ、皇帝の座る金箔の椅子と台座がありました。

B ; 長生殿

ザーロン帝の母親の住居であった建物。

右に見える椰子の木がなんとも南国っぽいですね。確かに建物とか王宮の配置は紫禁城を真似ているのかもしれないけれど、やっぱりここはベトナムなんだな～って思いますよね。中国の影響だってすごいなと思いますが、でもそれはその国にあったものになら変わっていくんだろうな。同じように中国の影響を多々受けている日本もそうですもんね。

C ; 頤臨閣

阮朝の菩提寺。庭には歴代の皇帝の名前を記した大きな青銅の鼎があります。写真でわかりますか？

1 個大きいのが正面に見えますが、よーくみたら、その左右にもありますよ。